

質 問 書 (回答)

2021年9月30日

「南スーダン国南スーダン放送局組織能力強化プロジェクトフェーズ2」

(公示日：2021年9月15日／調達管理番号：21a00541) について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
①	6 ページ 項目 3) C) 機材費	機材費は 19,750 千円で見積もることになっており、第 1 期業務の内容の中では「OJT の実施に必要な小型機材」を調達する具体例として、PC、ソフト、ビデオカメラ、マイク・・・などを想定していますが、これら小規模機材以外にも必要と思われる放送機材を協議の上、提案することは可能でしょうか？	提案頂いて差し支えありません。ただし、金額は定額見積 19,750 千円の中に含むものとします。
②	20 ページ 項目 (8) 支局の取り扱い	支局機能・能力の強化のためには、ワウ及びマラカルからの映像伝送だけでなく、普段の情報のやり取りや連絡が不可欠と考えられますが、例えばメール、電話、オンライン会議等の通信インフラはどの程度確保されていると考えてよいのでしょうか？	有線接続や wi-fi 接続等で利用できるインターネット環境は整っておらず、携帯電話の電波のみ使用可能です。職員は、携帯電話（メッセージングアプリの使用を含む）は使用可能との前提でお考え頂き、業務実施に必要と考えられる通信費を見積に計上して下さい。支局へのインターネット設置費用の提案も可とします。いずれも本見積に計上ください。
③	23 ページ 項目 (19) 本邦研修	1 回あたり 1～2 週間程度の本邦研修を 4 回実施とありますが、実施時点でコロナによる入国後隔離期間が設定されている場合、その期間も含めてスケジュールを組むことになるのでしょうか？ その場合、隔離期間は業務日数には含まれないという認識でよろしいでしょうか？	今後状況は変化すると考えられますので、現時点では入国後の隔離期間は想定せずにスケジュールを計画してください。 また、研修実施時に隔離があった場合、隔離期間中に何らかの業務を行う場合（例：オンライン会議など）のみ業務日数とします。

以 上